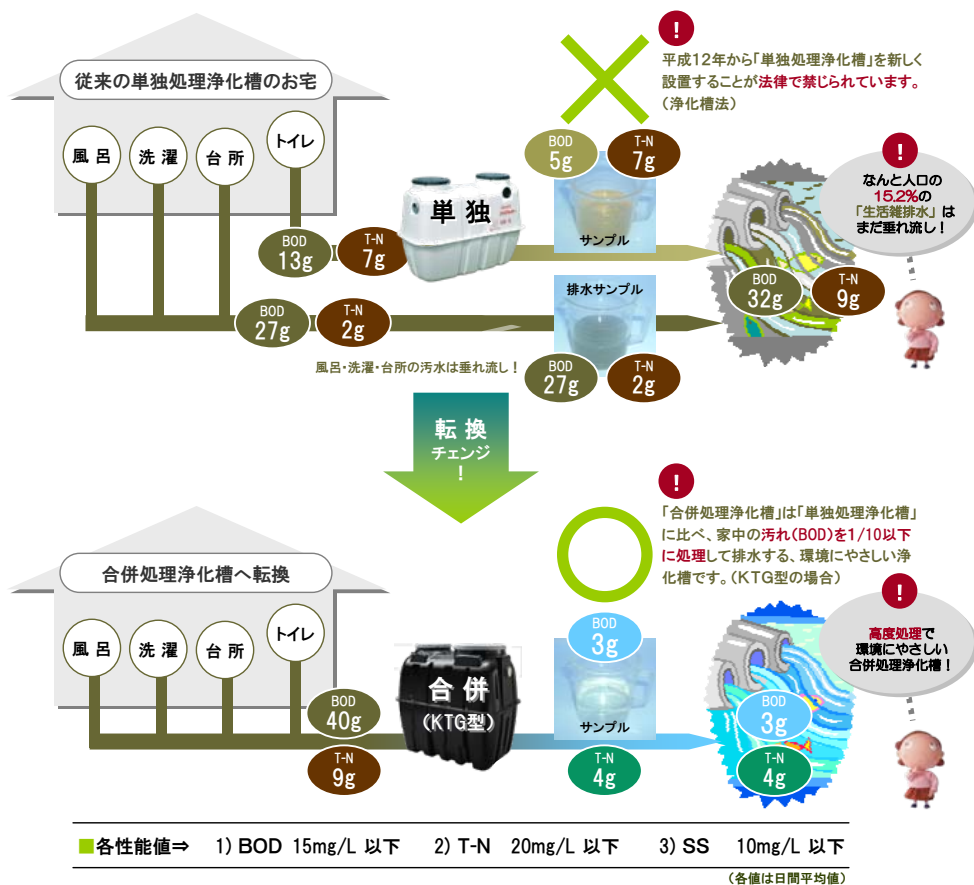


## ●高度処理が環境にやさしい

し尿だけを処理する単独処理浄化槽から、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽へ時代は変遷しています。合併処理浄化槽の処理性能はBOD20mg/Lが主流でしたが、KTG型では下水道と同等のBOD15mg/Lまで性能を向上させ、さらにT-N20mg/Lの窒素除去機能も付加し、省スペースで高度処理型という相反する課題を実現しました。

「生活雑排水」は、トイレ(し尿)以外の(台所)(洗濯)(風呂)などから排水される油や洗剤などが混じった大量の汚れた水ですが、全国の人口の15%以上がまだ「生活雑排水」を垂れ流している状況です。

みなが安心して利用できる川、子供たちに残してあげたいきれいな水辺環境を守るためにも、既設単独処理浄化槽(みなし浄化槽)の合併処理浄化槽への転換が求められています。



※ **BOD 00g** の数値は1人が1日に出す「有機物」の量をBOD(汚れの指標)で表したものです。

※ **T-N 00g** の数値は1人が1日に出す「窒素」の量をT-N(汚れの指標)で表したものです。

※窒素は富栄養化物質の一つで、赤潮、アオコの発生の原因になります。

## ●省スペースが環境にやさしい

既設単独処理浄化槽からの転換が容易な、コンパクトな合併処理浄化槽です。コンパクトさが温室効果ガスの発生量抑制に寄与します。流入管底から浄化槽底面までの寸法が小さいので重機による掘削作業性が向上し、残土処分量も運搬車両4台分から2台分に減らすことができます。(当社構造基準型KKG20型比/2人槽の場合)

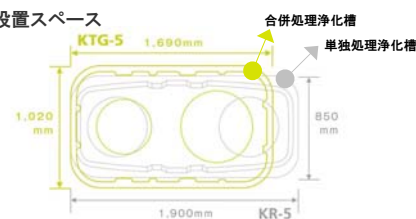


高度な設計と仕組みで、性能とサイズを実現!

■流入管底から浄化槽底面までの寸法

	KTG型	KGR2型
5人槽	1.255mm	1.505mm
7人槽	1.255mm	1.505mm

■設置スペース

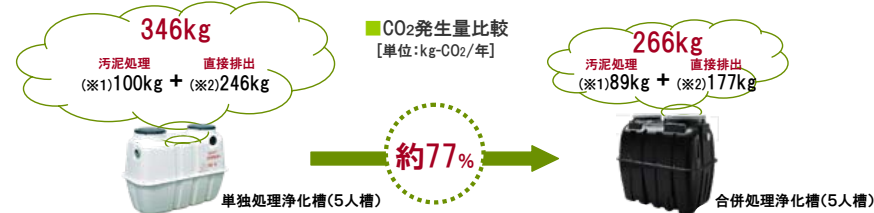


単独処理浄化槽と同等の設置スペース(5人槽)!

構造基準型と比べて2台分の運搬車両が発生する温室効果ガスの発生量低減!

## ●CO<sub>2</sub>排出量の低減が環境にやさしい

次世代型浄化槽KTG型では、ランニング時(使用段階)における省エネ=CO<sub>2</sub>(温室効果ガス)排出量低減にも重点的に取り組みました。ランニング時のCO<sub>2</sub>は、プロワの消費電力以外に、清掃汚泥の処理時および浄化槽の処理過程(直接排出)でも発生します。KTG型では、汚泥の減容化およびBODと窒素の高度な処理により、汚泥処理と直接排出に関わるCO<sub>2</sub>排出量を単独処理浄化槽(みなし浄化槽)と比べて約23%低減しました。



※1:汚泥処理に関わる清掃汚泥は、単独処理浄化槽については「沈殿分離室+接触ばっ気室+沈殿室」、KTG型については「沈殿分離槽+嫌気ろ床槽」を対象にしました(洗浄水は含まず)。

※2:単独処理浄化槽の直接排出には、未処理で放流される雑排水分を含みます。

(参考文献:JSA「平成21年度 浄化槽の低炭素化に向けた調査検討業務報告書」)